

## 2023 年（令和 5 年）の世界の年平均気温<sup>1</sup>（速報）

2023 年の世界の年平均気温偏差<sup>2</sup>は $+0.53^{\circ}\text{C}$ （1～11 月の期間から算出した速報値）で、統計を開始した 1891 年以降、2016 年を大きく上回り、最も高い値となる見込みです。また、最近 10 年（2014～2023 年）は、すべて歴代 10 位以内となる見込みです。世界の年平均気温は、長期的には 100 年あたり  $0.76^{\circ}\text{C}$  の割合で上昇しており、特に 1990 年代半ば以降、高温となる年が多くなっています（図 1）。

2023 年の地域別の気温では、世界のほぼ全域で高温となりました（図 2）。また、2023 年の月別では 5～11 月、季節別では夏、秋の平均気温が歴代 1 位の高温となりました。

世界の平均気温は、数年程度から数十年程度の時間規模の自然変動の影響を受けて変動しながら、二酸化炭素などの温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化の影響により長期的に上昇しています。

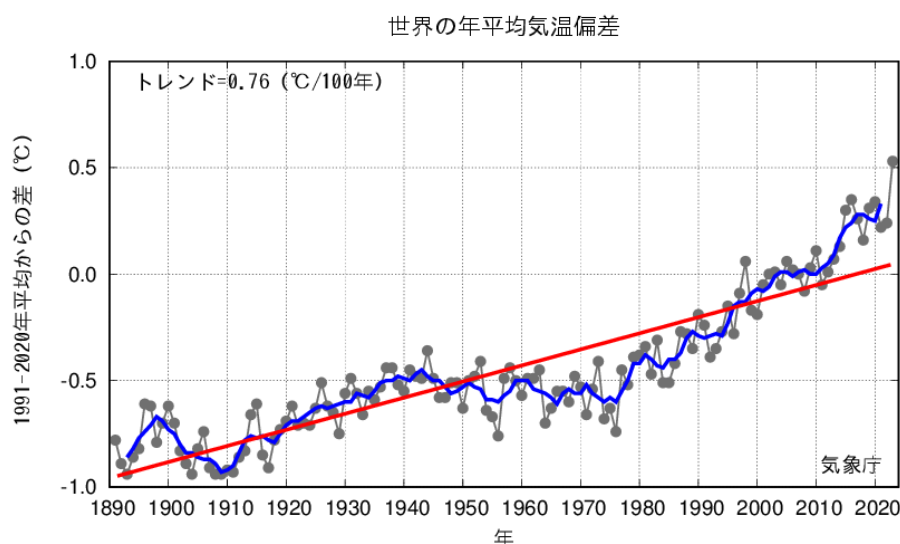


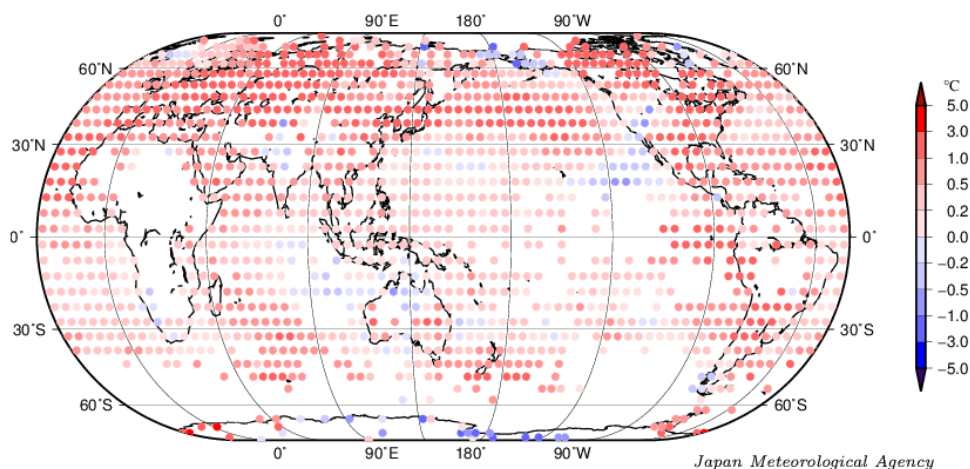
図 1 世界の年平均気温偏差の経年変化（1891～2023 年、速報）

黒線は各年の偏差、青線は偏差の 5 年移動平均値、赤線は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。偏差の算出には 1991～2020 年の 30 年平均値を用いている。2023 年は 1～11 月までの観測データによる速報値。

<sup>1</sup> 世界の平均気温偏差の算出方法はホームページに掲載している。[https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/clc\\_wld.html](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/clc_wld.html)

<sup>2</sup> 世界の平均気温の偏差は各年の平均気温からある統計期間（ここでは 1991～2020 年）の平均値を差し引いた値から算出している。

## 年平均気温偏差 2023 年



図中の丸印は、5° x 5° 格子で平均した 1991-2020 年からの偏差を示す。

図2 2023 年の年平均気温偏差の分布図（速報）

各観測点の 2023 年の年平均気温偏差（速報値）を緯度、経度 5 度の領域ごとに平均した値で示す。

参考：世界の年平均気温偏差\*の順位（上位 10 位まで）

世界		
順位	年	気温偏差 (°C)
1	2023	+0.53**
2	2016	+0.35
3	2020	+0.34
4	2019	+0.31
5	2015	+0.30
6	2017	+0.26
7	2022	+0.24
8	2021	+0.22
9	2018	+0.16
10	2014	+0.13

\*：1991～2020 年の 30 年平均値からの偏差

\*\*：2023 年の値は 1～11 月までの観測データによる速報値

本資料は、2023 年 1～11 月までの観測データをもとに、速報としてまとめたものです。

世界の年平均気温の確定値は、2024 年 2 月初めにホームページ（下記 URL）で発表します。また、同ページにて年別・季節別・月別の世界及び日本の平均気温を随時更新・掲載しています。

気温・降水量の長期変化傾向

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/index.html>

